

平成30年度の大津圏域地域医療 構想調整会議の概要について

平成30年10月19日

滋賀県健康医療福祉部医療政策課

平成29年度の調整会議概要

日時	議題等
平成29年 6月5日	<p>第1回 大津圏域地域医療構想調整会議</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 滋賀県保健医療計画の改定について(2) 平成30年度地域医療介護総合確保基金(医療分)にかかる事業提案について(3) 平成28年度病床機能報告結果について(4) 慢性期機能の現状と連携における課題について
平成30年 2月16日	<p>第2回 大津圏域地域医療構想調整会議</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 公的医療機関等2025プランについて(2) 有床診療所の新規開設について(3) 滋賀県保健医療計画の改定について(4) 平成30年度地域医療介護総合確保基金(医療分)にかかる予算見積状況について(5) 医療・介護の体制整備にかかる「協議の場」について

平成30年度の調整会議について

概要

◆大津圏域地域医療構想調整会議

- 回数:概ね2回程度(10月、1~2月頃)
- 協議内容:地域医療介護総合確保基金、病床機能報告の他、大津圏域における病床機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの充実に関して協議を行う。
- 次回協議予定:2025プランについて、慢性期機能の現状と連携について、等

◆その他

- 意見交換会等を実施し、テーマ毎に情報の共有、調整を行い、調整会議における議論の進展を図る。
- 回数:概ね2回程度(9月、11月~12月)

【開催済】

9月10日 第1回大津圏域地域医療構想調整会議における意見交換会

出席者:高度急性期・急性期を担う病院

(市立大津市民病院、大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院)

平成30年度第1回意見交換会 【平成30年9月10日開催】

議事概要

- 大津圏域において高度急性期・急性期を担う病院(市立大津市民病院、大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院)による意見交換会を平成29年度から実施。
- 各病院提供による医療資源投入量、病床機能報告(埼玉県方式)等を用いて定量的な基準による分析を実施し、認識の共有を行った。

意見交換会における主な意見

- 分析結果を確認の上、高度急性期、急性期を明確に分けるのではなく、「急性期相当」として考えるとよいのではないか。
- 大津圏域の今後の課題として、回復期の不足をどのように対応するか。現状として3病院においても回復期の患者を診ている部分もあり、検討にあたっては退院後の出口がある方とない方を分けて考える必要がある。
- 定量的な基準については今回の結果を踏まえつつ、別の分析方法を加えてみてはどうか(埼玉県方式をベースとするか、さらに別の分析方法を追加するか)。
- 定量的な基準については大津圏域だけで考えるのか、滋賀県全体の視点についても検討する必要があるのではないか。

今後の意見交換会について

- 3病院間における意見交換会において認識の共有を図ることができたため、一区切りをつけることで合意。
- 次回は大津赤十字志賀病院、地域医療機能推進機構滋賀病院を加えた大津圏域の公立・公的5病院で実施してはどうか。
(調整会議終了後、年内実施で調整予定)